



健康ジャーナル

■発行所/有限会社 太陽エージェンシー ■編集部/東京都荒川区町屋3-2-1 ライオンズプラザ115
 ■問い合わせ/TEL 03-5855-1190 FAX 03-5855-0251
 ■年間購読料/12,000円(税、送料込み) デジタル版/9,600円(税込み) ■郵便振替/00190-3-54248

介護予防のための「なるほど商品」発掘プロジェクト

発明アイテム見聞録!

このコーナーは、一般の方の発明品を紹介するコーナーです。すでに商品化されたモノ、これから商品化するモノも含めて随時このコラムで紹介しています。掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第17回 高齢者を転倒から救う! 足指力計測器

『チェッカーくん』

▶発明者の山下和彦さん

無料プレゼント!
 発明ガイドブック
 「発明ライフ入門(500円)」
 希望者は下記まで。

高齢者の転倒による大腿部・頸部骨折は年間9万4000人。転倒骨折は、寝たきりの主要因といわれています。この発明品は、高齢者が寝たきりの原因となる転倒のリスクを把握できるよう、下肢筋力を足指間の力で計測できる測定具です。

なぜ、下肢筋力が、転倒と関係があるのか。それは、老化や運動不足で、下肢筋力が低下すると、足指に力が入らず、高齢者特有のすり足やチョコチョコ歩きになり、わずかな段差でもつまずきやすくなるからです。

歩くときは足指が地面を蹴り出すようにして歩かないと、膝が

上にあがらず、歩行速度もあがりません。転倒する高齢者が多いのはこの下肢筋力が弱っていることが一因なのです。自分の筋力を日々把握すれば、転倒リスクを認識することができ、予防にもつながるといえるのが、この発明品が生まれた目的なのです。

「チェッカーくん」の使い方はとってもカンタン。イスに腰掛けて、チェッカーくんを足元において、親指と人差し指で、センサー部分を挟み込んだら準備完了。そのまま2本の足指で、ジャンケンゲームをつくるように挟み込むと、下肢筋力が測定できます。

男性で5キ口、女性で4キ口

の場合は及第点。しかし、男性で3キ口、女性は2・5キ口以下である場合は、足部の機能が低下しつつある状態と見えそう。くしゃくしゃに丸めた新聞紙を足指で伸ばす「新聞紙ギャザー体操」をして足元の機能を取り戻しましょう!

発明したのは、現在、大阪大学大学院、医学系研究科バイオデザイン学共同研究講座特任教授、工学博士の山下和彦先生。今後、老人ホームや福祉施設などのほか、フィットネススクラブやスポーツクラブ、各学校機関などでも普及が期待できる発明品です。

(松野泰明)

(この商品のお問い合わせは)

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野KJ係 まで
 東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル
 ☎ 03(5366)8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp